

暑い日は「街のオアシス」図書館へ

今月は
祁答院分館からの
おすすめ!!

児童書



なつのいちにち
はた こうしろう 作
(偕成社)

暑い暑い夏の日、山を目指して走った。強い日差し、草のにおい……。ページの中からあふれ出す夏。



赤い実はじけた
名木田 恵子 作
三村 久美子 絵
(PHP研究所)

幼なじみの男の子が気になる朝美の話、イタズラ電話に出た年上の女性に恋心を抱くアキラの話、父親の暴力から母親を守りたい英貴の話など7編の物語を収録。

一般書



チッチと子
石田 衣良 著
(毎日新聞社)

3年前に妻が不思議な事故で死んで以来、小学生の息子と二人暮らしを続ける作家・青田耕平。ついに直本賞の候補に選ばれるが…。



**知るほどハマル!
温泉の科学**
松田 忠徳 著
(技術評論社)

ふと行きたくなる場所、それは温泉。なぜ温泉は人を引き付けるのか?実際に癒やしを与えるのか?温泉の魅力と体との関係を探る。

平成22年度 おはなしひろばのご案内

幼児・小学生とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせなどを行っています。ぜひ、お越しください。

図書館名	曜日	時間
中央図書館 (会場は中央公民館)	毎月第2・4水曜日	14:30~15:00
樋脇分館	毎月第4金曜日	10:00~11:00
入来分館	毎月第3土曜日 *8・1月は除く	10:30~11:00
東郷分館	毎月第3水曜日	16:00~16:30
祁答院分館	毎月第2・4水曜日	16:00~16:30
里分館	毎月第2・3火曜日	16:00~16:30
上甕分館	毎月第3火曜日 *8・10・1月は除く	10:30~11:30

*参加料は無料です。

今年(国民読書年)

毎月23日は子どもと一緒に読書の日

一問合先一

- 中央図書館 ☎(22) 3542
- 樋脇分館 ☎(38) 0009
- 入来分館 ☎(44) 3111
- 東郷分館 ☎(42) 0053
- 祁答院分館 ☎(21) 8755
- 里分館 ☎(3) 2958
- 上甕分館 ☎(2) 0001
- 下甕分館 ☎(7) 0390
- 鹿島分館 ☎(4) 2211

【申込方法】中央図書館および本土地域の各分館に図書館利用者カードを持参し、「インターネット予約利用申込書」に記入の上、申し込み
*利用方法などについては、同ホームページをご覧ください。

【利用できる方】図書館利用者カードをお持ちの方
*中学生以下の方は保護者の許可が必要

【インターネット予約を始めた】薩摩川内市立図書館ホームページ
(http://lib.satsumasenda.jp/)から、中央図書館の貸し出し中の本の予約ができます。ぜひ、ご利用ください。

うだるような暑さに身も心も疲れ果ててしまふような季節。「街のオアシス」図書館へ立ち寄ってみてください。ほっと一息できるかもしれませんよ。



音読の成果発表(学習発表会)



五反田川の生き物や水質の調査



一輪車の集団演技練習



郷土の伝統芸能「躑躅り」(大運動会)



保護者・地域の方々に見守られた始業式の後



地域の専門家の指導によるサツマイモ植え

野下小学校

音読・エコロジー・一輪車の学校

創立109年 校訓「かしくやさしくたくましく」

樋脇町市比野の南西、山間部にある野下地区は、竹林や水田に囲まれ、ホタルの舞い、紅葉や雪景色、ウグイスのさえずりなど、四季折々の豊かな自然に恵まれています。
本校は、創立109年目を迎えました。また今年、市比野小学校から特認生5人を迎え、児童数が10人(男子3人・女子7人)になり、元気な声が響きわたっています。
本校は、「感性豊かで、活力を生きる力」溢れる野下の子どもを育てる「どの子も何かどこかで一番」を教育目標としています。個に応じたきめ細かい指導による学力向上をはじめ、体験を生かした道徳教育や小小交流・小中連携による豊かな心の育成、一輪車や食育を中心とした体力・気力の向上に努めています。キャッチフレーズは「音読・エコロジー・一輪車」で、地域のよさや小規模校の特色を

生かした教育活動を展開しています。音読では、朝読み送、古典の暗唱や朗読。エコロジーでは、川や炭の学習、花や米・サツマイモの栽培。一輪車では、個人技の向上や集団演技に取り組んでいます。地域の方々には、登下校時の見守りや声掛け、学校周辺の安全で美しい環境整備などをしていただいています。また、授業でも野下地区の自然や歴史のことを教えていたり、学校や地域の行事を一緒に楽しむなど、ふれあい活動も盛んに行っています。中でも郷土の伝統芸能である「躑躅り」と「銭太鼓」は、毎年、保存会の方々のご指導の下、練習を重ねて、大運動会や学習発表会などで発表しています。



VOICE
やまきた いっせい
野下小学校 山北一成 校長

「家庭・地域と共に育つ野下小」を合言葉に、地域人材の活用や交流学習の推進に積極的に取り組んでいます。
本校は、来年3月で109年という長い歴史に幕を降ろしますが、これまで受け継がれてきた「野下の教育」の更なる充実到最后まで努めたいと考えています。

